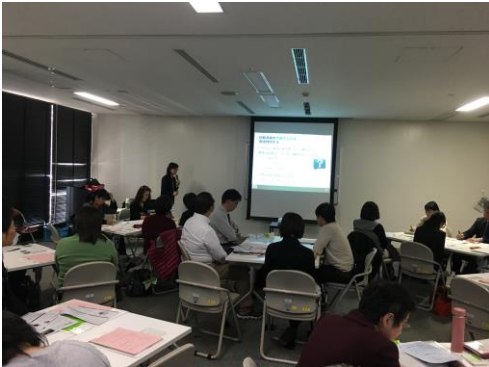


研修名	<b>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」</b> ～相談支援における「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～
講師	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健部 災害等対策支援室 室長 鈴木 友理子 先生
開催日時	平成 29 年 11 月 16 日 (木) 13:00 ～ 16:00
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 5階 研修室
参加者数	31名(参加者内訳) 相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、保健師、看護師 臨床心理士、事務職、メンタルヘルス対策促進員など
研修の 内容等	<p>・各種相談支援窓口・機関において相談支援に従事する人を対象に、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介した。講義形式にて、うつ病患者への対応についての解説やリスク評価、演習形式(ロールプレイ)にて、相談窓口での「傾聴」の良い例と悪い例を体験することで、相談業務の中で活かしていただくことを目的とした。また、グループワークを通して意見交換を行い、他機関の支援者との交流を深めることができた。</p> 
参加者の 声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うつの方に、「自殺について考えているか？」など深い質問をしてもいいかわからなかったもので、勉強になりました。</li> <li>・初めて相談する人の思いを汲みとることが大切だと思った。</li> <li>・メンタルヘルス・ファーストエイドの理解と、具体的な相談援助の方法を学ぶことができた。</li> <li>・会場に参加されている方々に出会えたことが一番よかったです。皆さん、温かい気持ちで頑張っておられるのをとても感じました。</li> <li>・相談支援について再確認できることがたくさんあった。時折、自分のやり方を思い直す機会が必要と思った。</li> <li>・ロールプレイで対応について気づくことも多かったので、相談業務に取り入れたい。</li> <li>・ロールプレイの中で、自分が見えてよい振り返りができた。</li> </ul>